

ホテルや旅館で接客業

台湾人
大学生

インターンシップ受け入れ

南三陸町

南三陸町で、台湾人
大学生のインターン
シップの受け入れが始
まった。学生たちは町
内のホテルや旅館など
で接客業に取り組み、
観光業務などについて
学んでいる。

台湾の大学生の受け
入れは昨年に続いて2

回目。観光や交流事業
に関心のある台湾の大
学生に町内で実習して
もらうことで、インバ
ウンド受け入れ態勢の
推進や住民との国際交
流を図ることなどが狙
い。

インターン生は、台
湾の南西部にある台南
市、高雄市の国立、私
立大学の2、4年生。
日本語を学ぶ19人で、
7月5日に来町した。

受け入れ事業者は、
昨年度に引き続き、南
三陸町観光協会、ホテ
ル観洋の2事業所に、

本年度は志津川の民宿
下道荘、歌津のニュー
泊崎荘、入谷の南三陸
研修センターの3事業
所が加わった。

このうち、ホテル観

洋では8人のインター
ン生を受け入れた。学
生たちは館内の清掃や
客室整理、宴会の配
膳、レストランでの接
客などを学んでいる。

ホテルの従業員を相
手にした接客対応研修
では、「あいさつは笑顔
で」「コップや食事を席
におくときに音を立て
ない」などの指導を受
けた。

長栄大3年の彭詩雯
さん(21)は「みなさん
親切に教えてくれるの
で、しっかりと学んで

将来は日本の観光業界
に就職したい」と話し
ている。

阿部憲子おかみは
「みんな熱心に取り組
んでいるので、ありが
たい。大学を卒業した
ら、せひみなさんには
南三陸町で働いてもら
いたい」と語った。



町内のホテルで接客対応を学ぶインターン生

2017年7月20日(木)

三陸新報